

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月29日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900755		
法人名	有限会社 ノースランド企画		
事業所名	グループホーム きれんじゃく		
所在地	北海道旭川市末広5条7丁目1番11号 (電話) 0166-58-3838		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年1月29日	評価確定日	平成20年2月7日

【情報提供票より】(平成20年1月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年8月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 11人, 非常勤 6人, 常勤換算	14.2人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	15,800~20,800 円	
敷金	有(30,000 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無		有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(1月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名		
要介護3	5 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 85.1 歳	最低	66 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医)フクダ 旭川メディハイルペインクリニック
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体医療法人を中核として総合複合施設の中のグループホームで、重度化した場合や終末期に向けて本人、家族と段階的に繰り返し話し合いながら本人にとって最善の方法を確認して支援に取り組んでいます。また、理念の実践のために具体的なケア理念を掲げ、個々の目標を設定してその達成に向けて日々取り組んでいます。法人の内部研修の充実を図り、具体的な事例研究の発表会の開催など年間計画の作成が行なわれていたり、個々の職員の段階に応じて育成するための取り組みや働きながらトレーニングしていくことを進めています。また、事故対策や感染症対策などの委員会が設置されてケアサービスの質の向上に取り組まれています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価では、来訪者の訪問しやすい環境作りについて改善点があげられていましたが、広い共用空間には利用者にとって懐かしい餅つきのかや白が置かれていたり共に利用者、職員の日常生活や行事参加の様子などの写真が飾られ家庭的雰囲気を醸し出す工夫がされています。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は、全ての職員が参加して行なわれ新たな気付きや改善の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については家族や運営推進会議に報告されケアサービスの質の向上に利用されています。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は、評価日現在2回実施されています。議題についてはグループホームについて(地域密着型サービスについて)地域との連携について一日の生活について次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについてなど今後は、活発な意見交換が行なえるよう取り組みが検討されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>毎月「グループホーム きれんじゃく」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子などを家族に報告したり、近況報告書で健康状態や状態変化などを伝えて、意見や不安への対応が行われています。また、金銭管理についても定期的に報告されています。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>母体医療法人は、地域に根ざした活動が長く地域の人達との連携や交流が図られています。また、近隣への散歩や買い物、敬老会や町内会のお祭り参加、ボランティアの受け入れ、運営推進会議の開催など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全ての職員が参加して運営理念をつくりあげ、理念達成のための具体的なケア理念を職員間で共有している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念の重要性を理解し、申し送りやミーティングで話し合っている。また、運営理念、ケア理念を達成するために具体的な個々の目標を掲げその達成度について話し合わせフォローアップされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	母体医療法人は、地域に根ざした活動が永く地域の人達との連携や交流が図られています。また、近隣への散歩や買い物、敬老会や町内会のお祭り参加、ボランティアの受け入れ、運営推進会議の開催など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行なわれ新たな気付きや改善の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については家族や運営推進会議に報告されケアサービスの質の向上に利用されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在2回開催されている。メンバーは利用者、家族、町内会役員、知見を有する有識者、町内会婦人部役員、管理者・職員で構成されケアサービスの質の向上についてなど具体的に取組んでいる。</p>		<p>今後はさらに、行政や包括支援センターの協力を得ながら運営推進会議での活発な意見交換ができるように具体的なテーマの検討がされている。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所及び管理者は、行政との連携の重要性については理解して、日々ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		<p>今後は、地域での研修会の開催や火災避難訓練など具体的な連携について取り組みが計画されている。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「グループホーム きれんじゃく」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、金銭管理について家族に報告したり、近況報告書で健康状態や状態変化などを伝えて、意見や不安への対応が行われています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自己評価・外部評価の結果について家族に報告して意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者・管理者は、職員の離職や異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。また、共用空間には、職員の写真を掲示している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の内部研修の充実を図り、具体的な事例研究の発表会の開催など年間計画の作成が行なわれていたり、個々の職員の段階に応じて育成するための取り組みや働きながらトレーニングしていくことを進めています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会・研究会での他施設との交流が行われている。また、同一法人の他施設との合同の事例研究などでケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、利用者・家族の見学や併設するデイサービスの利用などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と利用者が一緒に食事の準備や後片付けをしたり、散歩や買物、ドライブや外食、レクリエーションを楽しみながら本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>散歩やスーパーでの買い物、層雲峡や常盤公園・紅葉見物などのドライブで積極的に外出の機会を多く作ったり、習字や歌唱などの趣味への支援や食事の準備・後片付け、入浴など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的なものとなっている。また、センター方式が導入されアセスメントが行われている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に一度モニタリングを実施して計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>併設されているパワーリハビリテーションやデイサービスが利用できる。また、本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	母体医療法人や利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師・看護師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	母体医療法人を中核として総合複合施設の中のグループホームで、重度化した場合や終末期に向けて本人、家族と段階的に繰り返し話し合いながら本人にとって最善の方法を確認して支援に取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけなど支援されている。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースや思いを尊重して、近隣の散歩やスーパーでの買い物、食事の準備・後片付け、レクリエーションや趣味への支援、公園や紅葉見物などの外出など支援している。		ホットケーキなどのおやつ作りなど職員の調理の技量も高く、玄関入り口にはアイスキャンドルも飾られて多種多芸さが感じられた。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて、一緒になって楽しんで食事の準備・後片付けや配膳、食器洗いなどを行っている。また、食事中は和やかな雰囲気を出している。		今後は、テーブルや椅子の高さの調整など検討すべき課題が明確となっている。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めずに利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され、習字や歌唱、食事の準備・後片付け、寿司やラーメンなどの外食、散歩や買い物、気分転換のための公園や紅葉狩りへのドライブなど外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スーパーでの買い物や散歩、紅葉狩りや温泉入浴、常盤公園までのドライブや野外でのレクリエーションなど気分転換ができるように積極的に外出が支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように火災避難訓練が年2回実施されている。また、消火設備についても点検が実施され対策されている。		救急救命の訓練も実施されている。今後は、近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して日頃より協力が得られるように検討されています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な食事摂取量や水分摂取量が把握され、栄養バランスやカロリーについても栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって不快な音や光の強さは感じられない。廊下や居間では、清潔感が漂い椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。また、併設されているパワーリハビリテーションやデイサービスも利用でき、気分転換や機能訓練ができるように配慮された工夫がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、仏壇や使い慣れた家具、家電製品が持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、家族の写真や趣味の作品が飾られ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。